

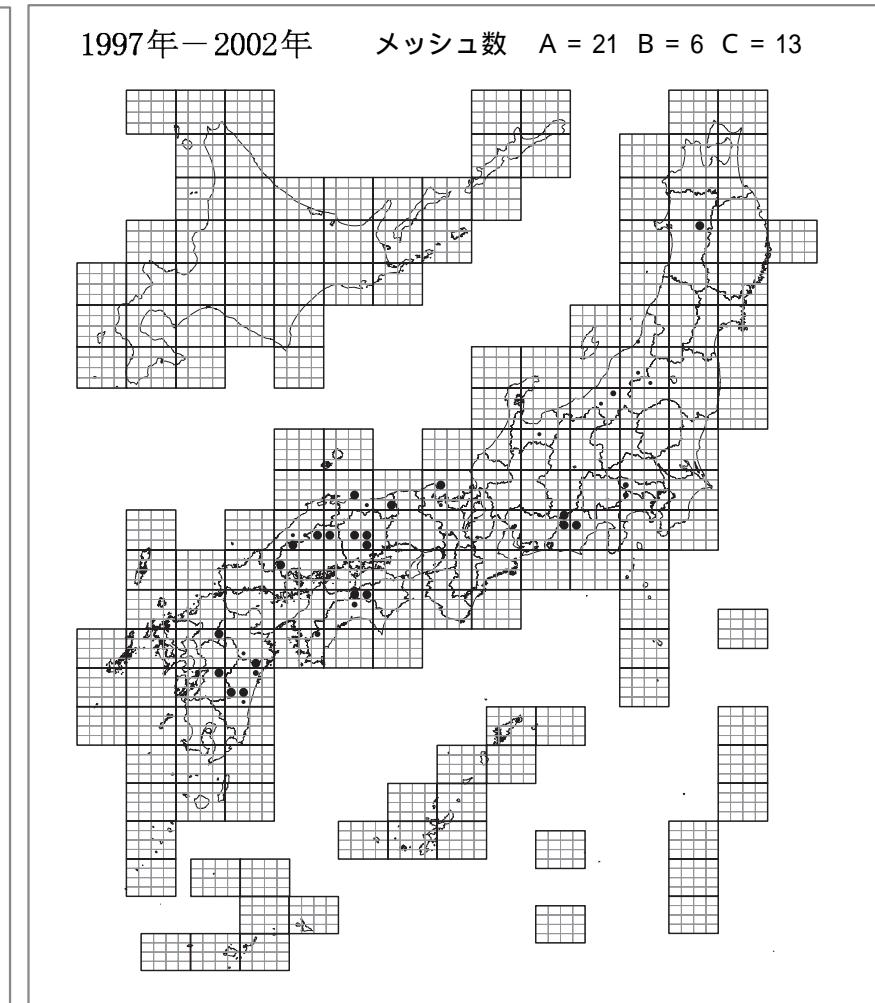
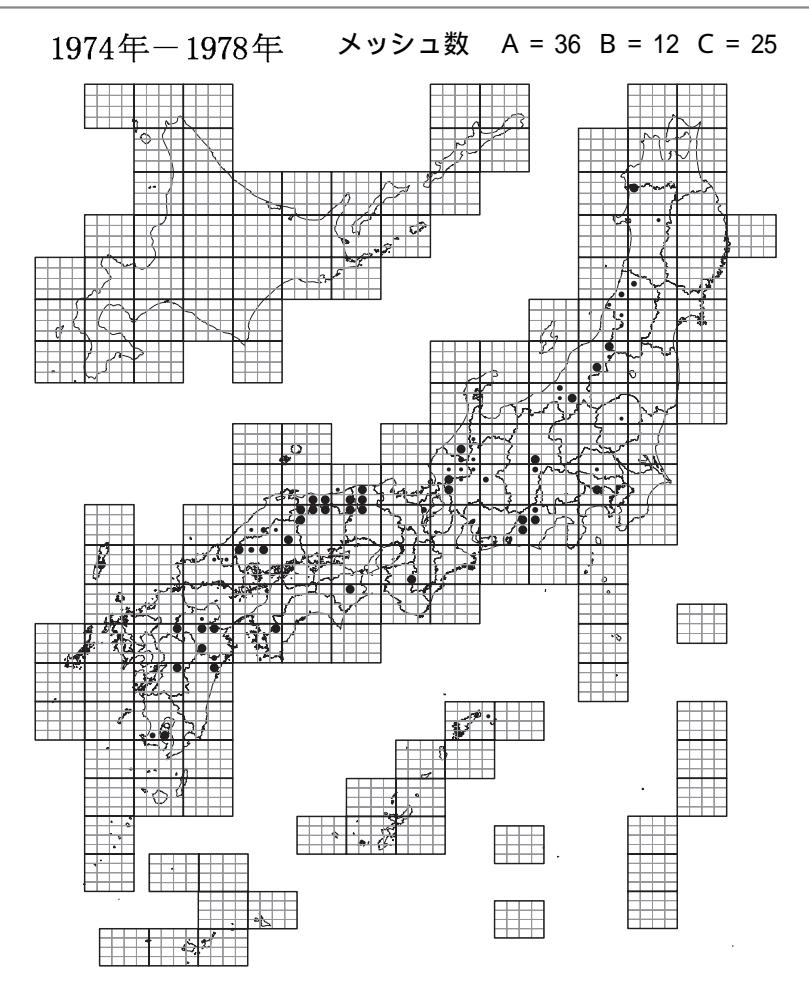
# ブッポウソウ

(分類) ブッポウソウ目ブッポウソウ科 *Eurystomus orientalis*

(環境省RDB種) 絶滅危惧 類

(分布) 本州以南で夏鳥。熱帯で越冬。東アジアから南アジアの熱帯および温帯域、オーストラリア東岸沿いに分布。

(生態) よく茂った森林にすみ、樹洞で営巣する。3~5卵を22日前後抱卵し、28日前後で巣立つ。森林内や農耕地で甲虫類やセミ、トンボなどの大型昆虫類を捕食する。



# アリスイ

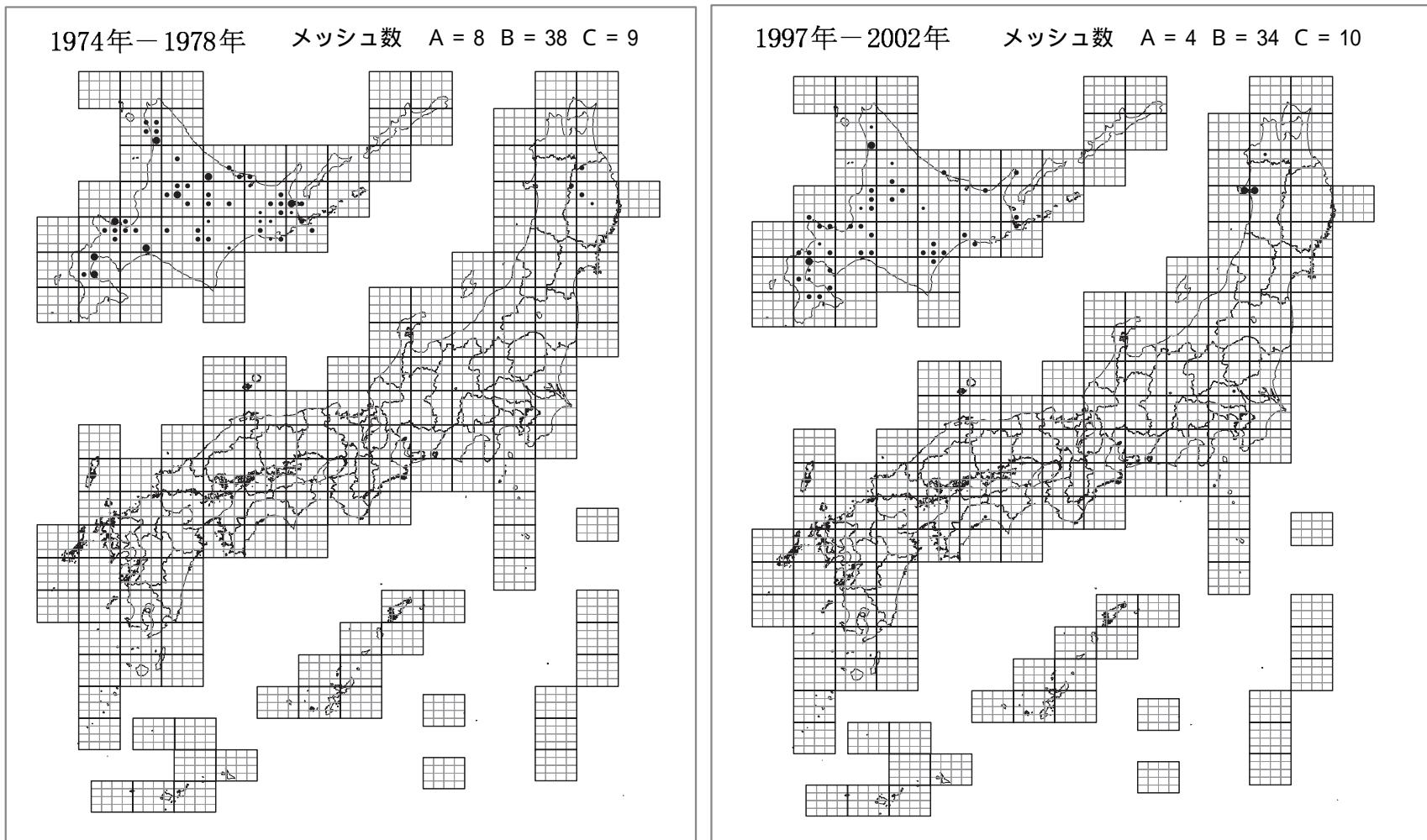
(分類) キツツキ目キツツキ科 *Jynx torquilla*

(環境省 RDB 種) -

(分布) 本州北部以北で夏鳥。それ以南では冬鳥。ユーラシアの温帯～亜寒帯で繁殖し、東南アジア～南アジア、アフリカ中部で越冬。

(生態) 5～7月に樹洞などの穴に営巣する。7～10卵を雌雄交代で約2週間抱卵し、19日前後で巣立ち、約2週間すると独立する。

おもに疎林や林縁の地上でアリの巣を壊して成虫や幼虫、卵などを食べる。



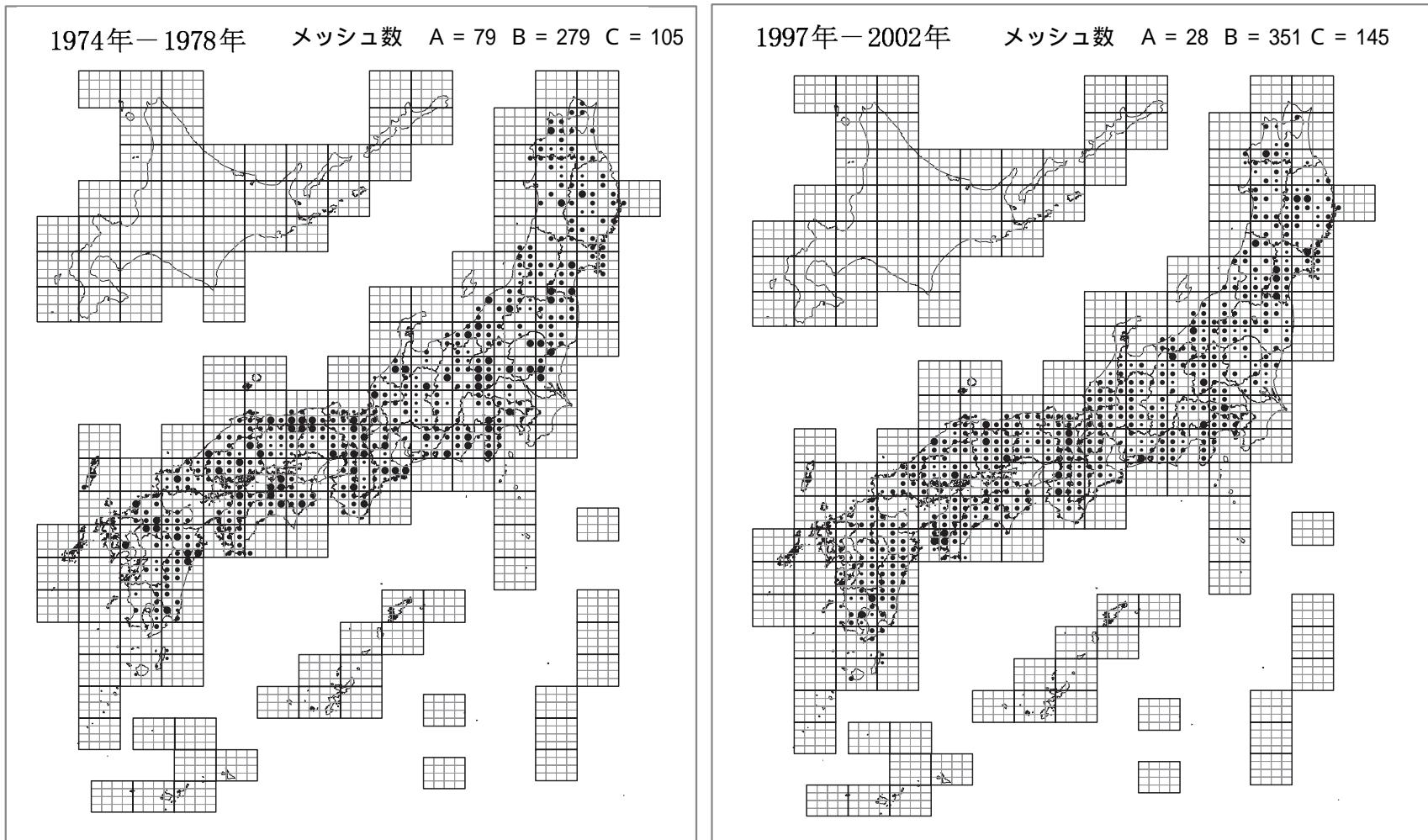
## アオゲラ

(分類) キツツキ目キツツキ科 *Picus awokera*

(環境省 RDB 種) -

(分布) 本州以南から屋久島で留鳥。日本の固有種。

(生態) 幹の直径が25cm以上の枯れ木や中が弱った生木に穴を掘って営巣する。5~8卵を約15日抱卵し、約25日で巣立つ。雑食性でおもに地上や樹幹でアリなどをとるが、木の実も食べる。



## ヤマゲラ

(分類) キツツキ目キツツキ科 *Picus canus*

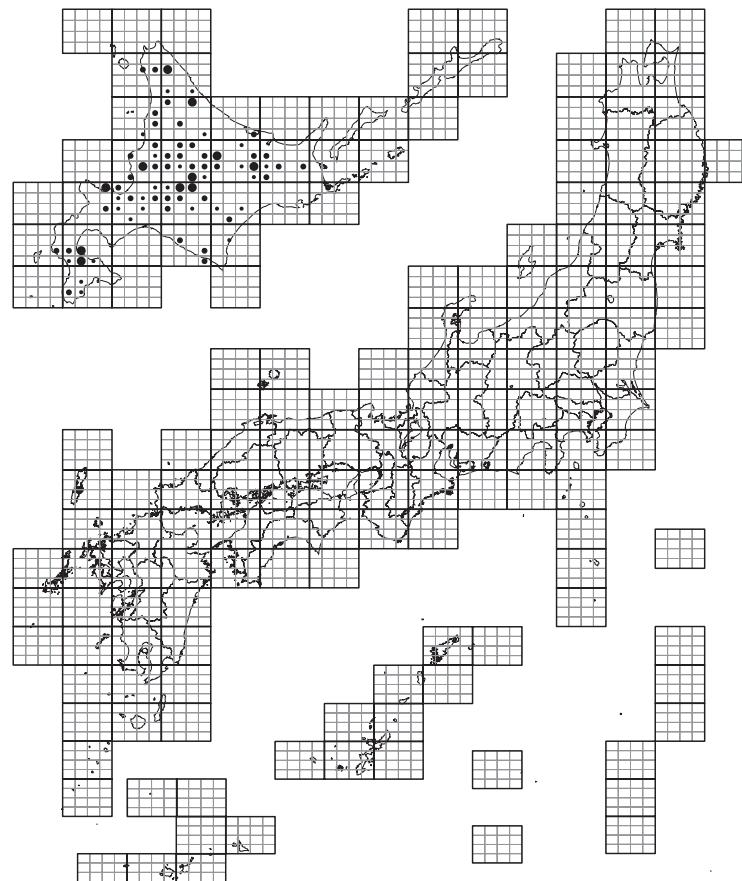
(環境省RDB種) -

(分布) 北海道で留鳥。ユーラシアの温帯域を中心に広く分布。

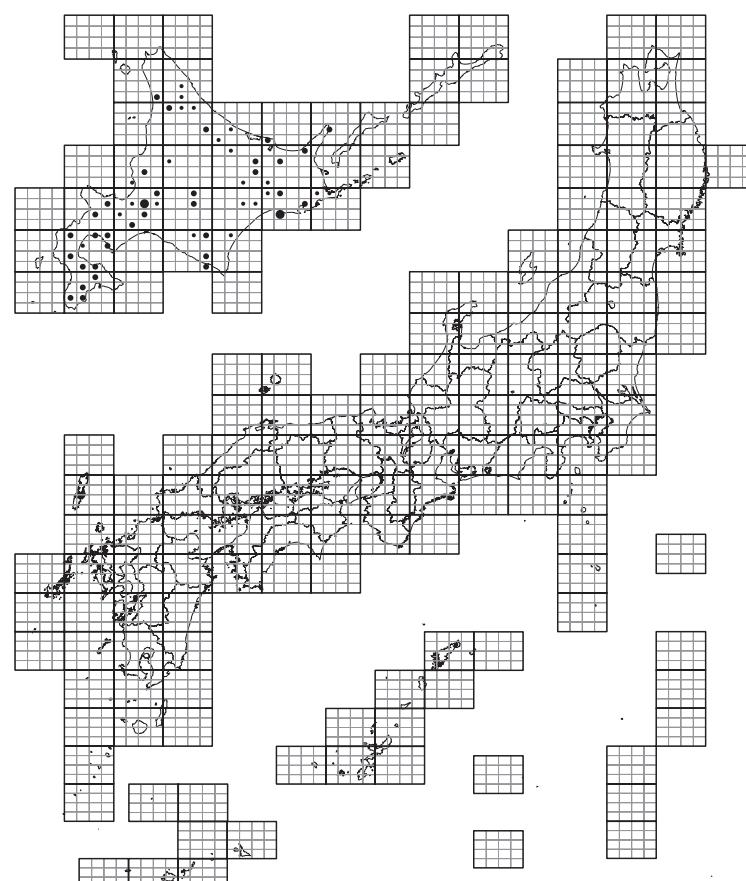
(生態) 広葉樹のある比較的に明るい林にすみ、内部が弱った生木に穴を掘って営巣する。7~9卵を雌雄交代で約15日抱卵する。

他のキツツキ類ほど木をつかず、長い舌ですき間にいるアリなどをなめとることが多い。

1974年—1978年 メッシュ数 A = 11 B = 41 C = 26



1997年—2002年 メッシュ数 A = 2 B = 33 C = 23



## ノグチゲラ

(分類) キツツキ目キツツキ科 *Sapheopipo noguchi i*

(環境省RDB種) 絶滅危惧 A類

(分布) 沖縄本島北部の山林だけにすむ固有種。

(生態) 亜熱帯性森林の沢沿いにある、スダジイなどの太い木に穴を掘って営巣する。1~3羽のヒナが、約30日の育雛の後に巣立つ。

雌はカミキリムシなどの幼虫、雄はセミの終齢幼虫やクモをよく給餌する。

